

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

大空町教育委員会

小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、大空町内児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果をまとめました。

【調査の概要】

<目的>

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

<実施日>

令和6年4月18日

<対象>

小学校第6学年、中学校第3学年の町内全児童生徒（小学校2校、中学校2校）

<内容>

調査は「教科に関する調査」と「質問紙調査」となっており、主に以下のような観点で行われています。

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

次の（ア）と（イ）を一体的に出題

- ア 身につけておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- イ 知識・技能等を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

【児童生徒に対する調査】

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【学校に対する調査】

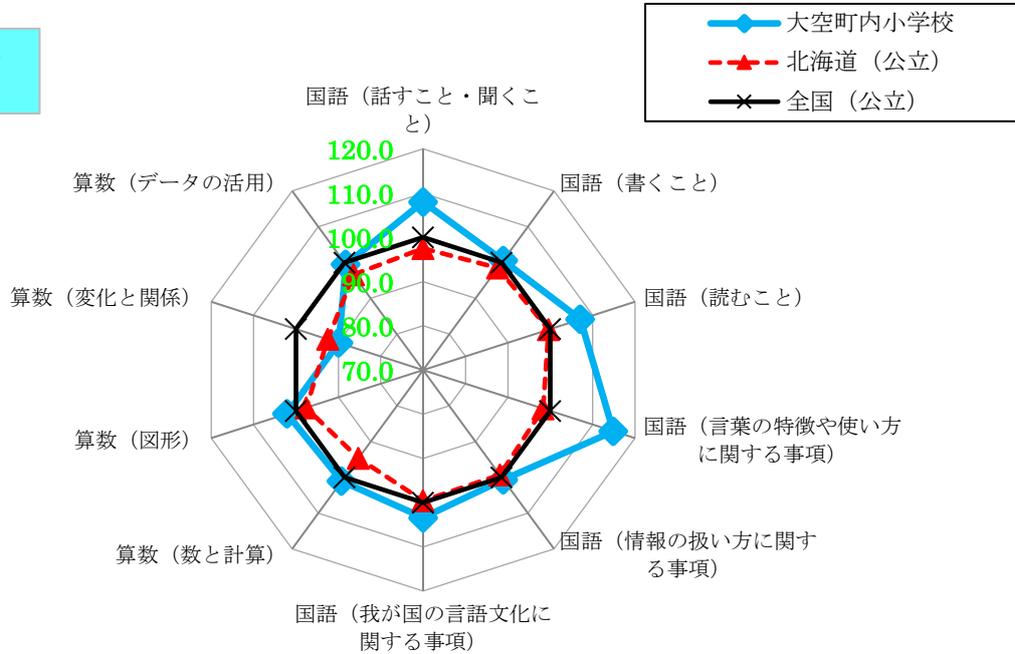
- 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況等に関する調査

【教科に関する調査結果】

令和6年度全国学力・学習状況調査結果 レーダーチャート図

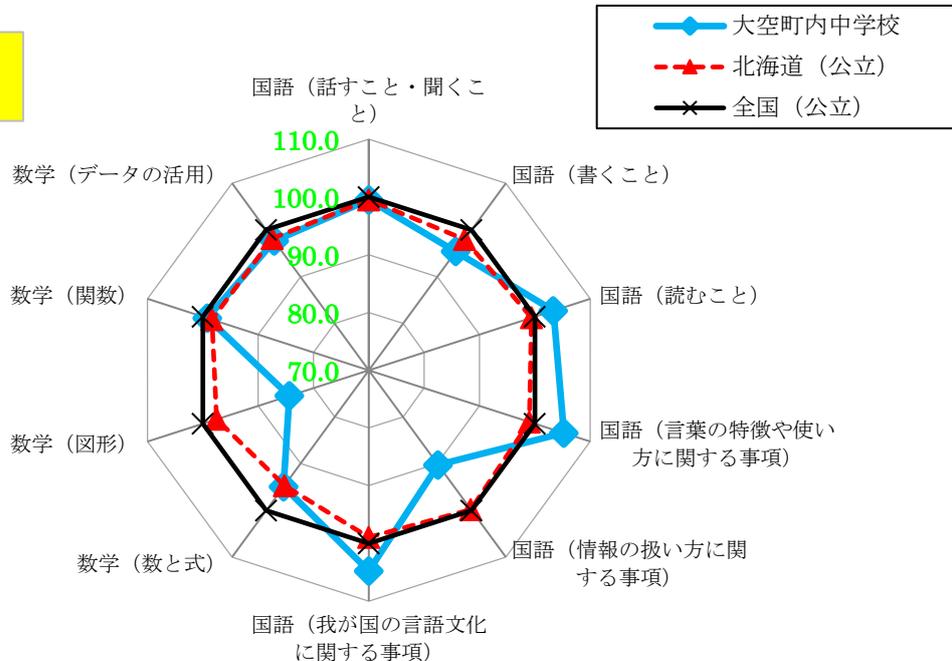
※教科の領域別に全国の平均正答率を100とした場合の大空町及び全道（公立）の状況をレーダーチャートで示しています。
（それぞれの平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校



ほとんどの教科・領域で全国・全道平均並みかそれ以上でした。特に国語の「話すこと・聞くこと」や「読むこと」、「言語事項」については全国平均を大きく上回っています。算数の「変化と関係」は、全国・全道平均を下回りました。

中学校

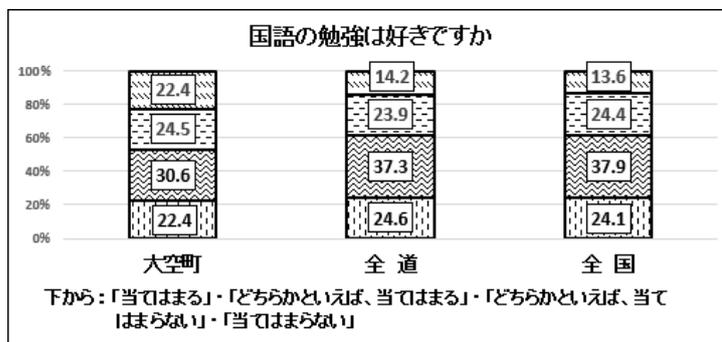


国語で、「読むこと」や「言語事項」が全国・全道平均を上回り、国語の「情報の扱い」と数学の「図形」では、全国・全道平均を下回りました。それ以外の領域では全国及び全道平均並みでした。

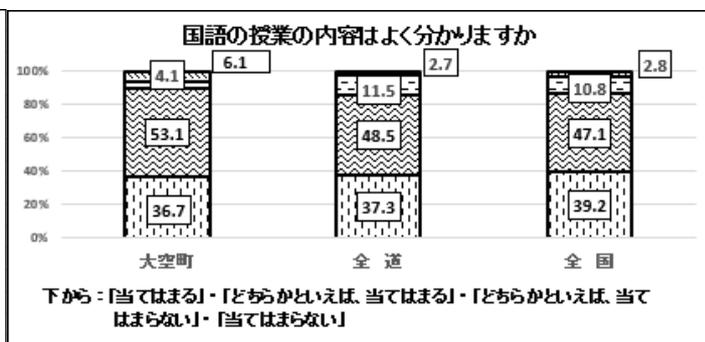
【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果】

《小学校》

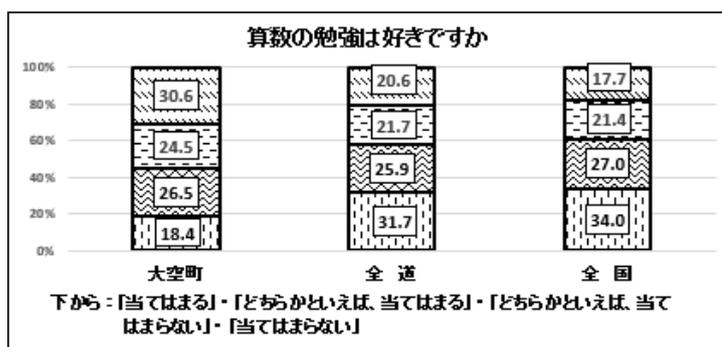
●学習に対する関心・意欲・態度



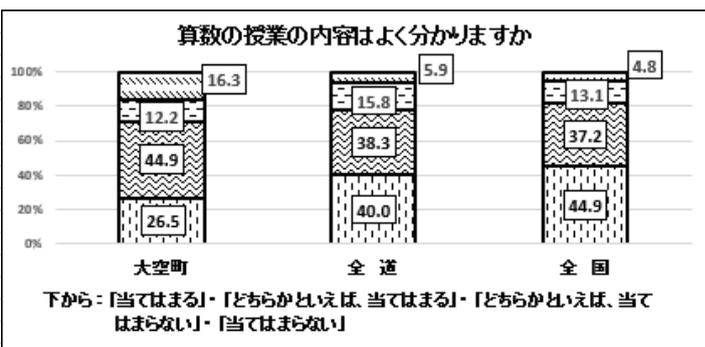
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が53.0%で、国語の勉強が好きな児童の割合は、全道平均より8.9%低い結果となりました。



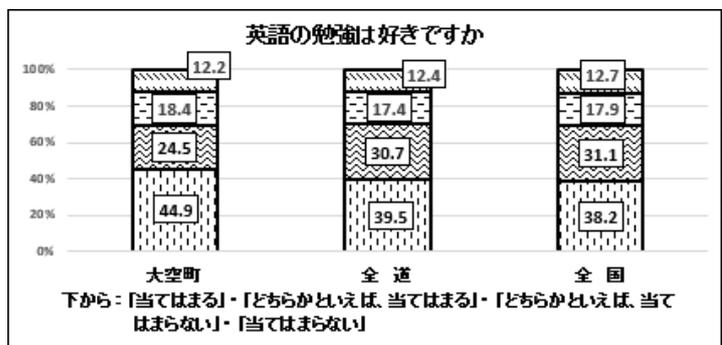
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が89.8%で、国語の授業の内容はよく分かると考えている児童の割合は、全道平均より4.0%高い結果となりました。



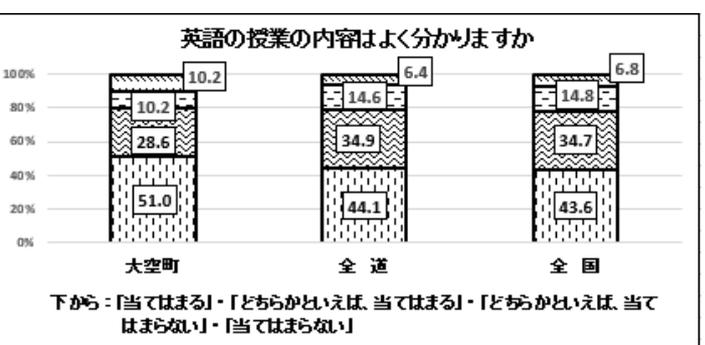
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が44.9%で、算数の勉強が好きな児童の割合は、全道平均より12.7%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が71.4%で、算数の授業の内容はよく分かると考えている児童の割合は、全道平均より6.9%低い結果となりました。

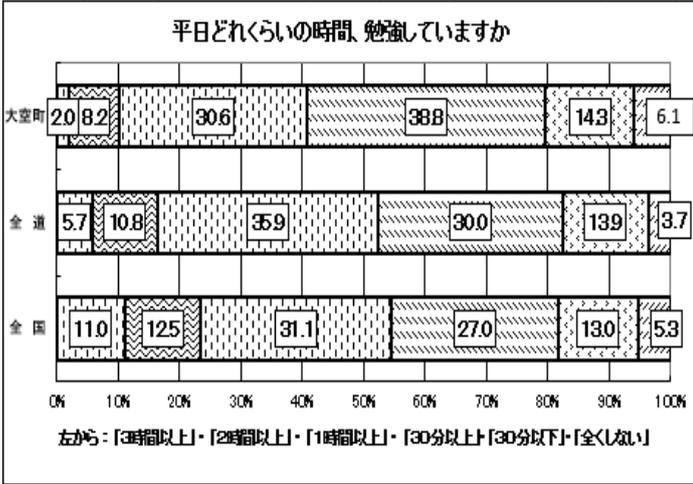


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が69.4%で、英語の勉強が好きな児童の割合は、全道平均とほぼ同じくらいの結果となりました。

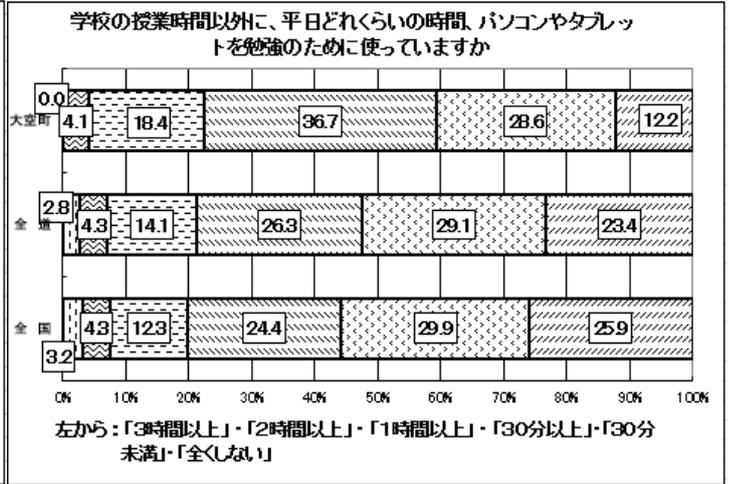


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が79.6%で、英語の授業の内容はよく分かると考えている児童の割合は、全道平均とほぼ同じくらいの結果となりました。

●家庭での学習習慣

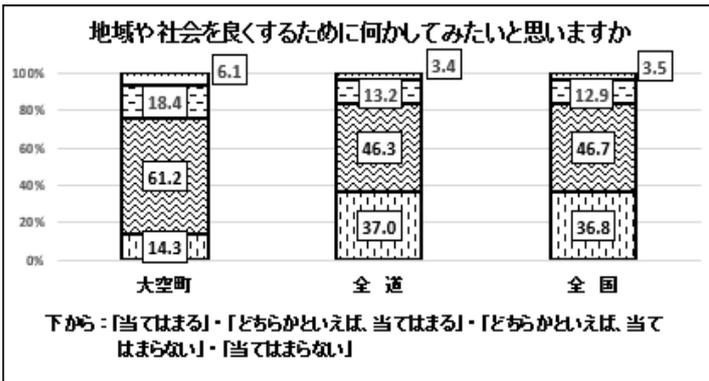


「3時間以上」「2時間以上」「1時間以上」との回答が40.8%で、家で、平日1時間以上勉強している児童の割合は全道平均より11.6%低い結果となりました。

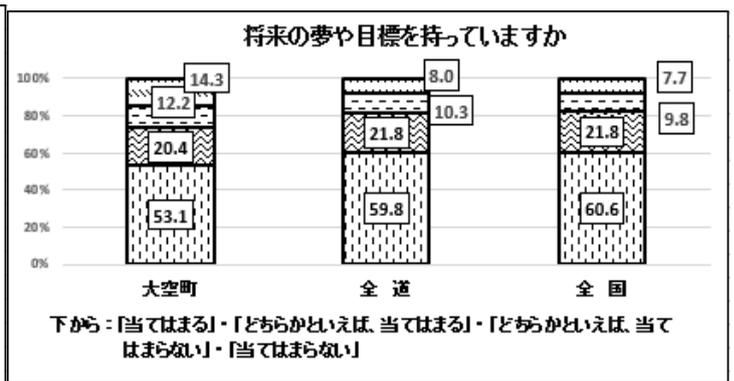


「3時間以上」「2時間以上」「1時間以上」との回答が22.5%で、学校の授業時間以外に、平日1時間以上パソコンやタブレットを勉強に使っている児童の割合は全道平均より1.3%高い結果となりました。

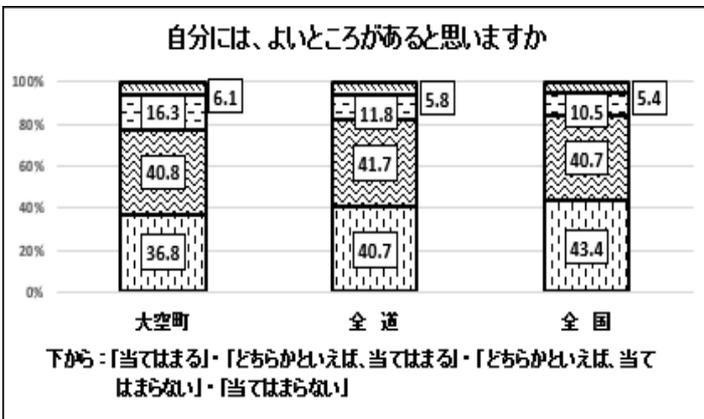
●自尊心、規範意識



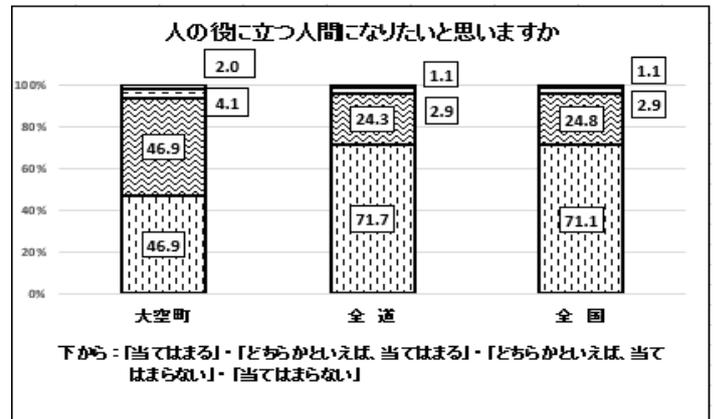
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が75.5%で、地域や社会を良くするために何かしてみたいと思う児童の割合は、全道平均より7.8%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が73.5%で、将来の夢や目標を持っている児童の割合は、全道平均より8.1%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が77.6%で、自分には、よいところがあると思う児童の割合は、全道平均より4.8%低い結果となりました。

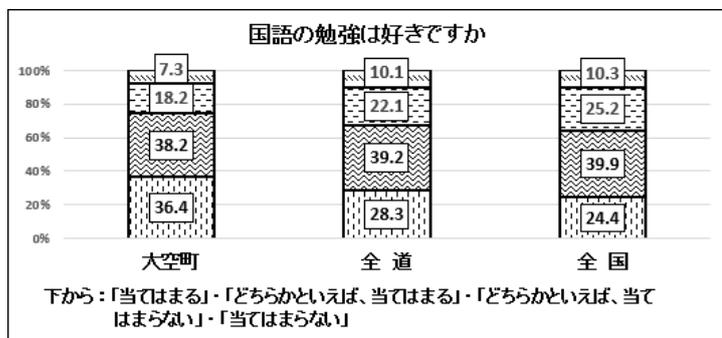


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が93.8%で、人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合は、全道平均より2.2%低い結果となりました。

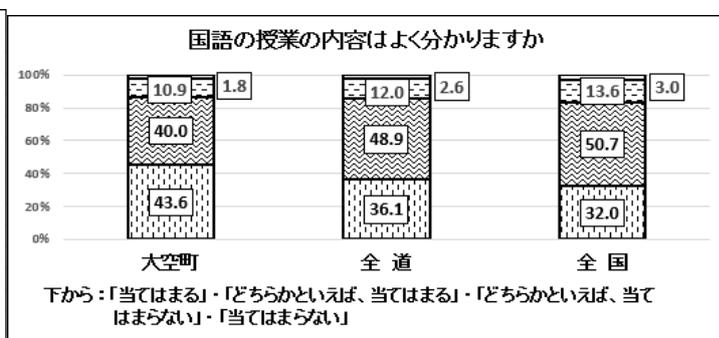
【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果】

《 中学校 》

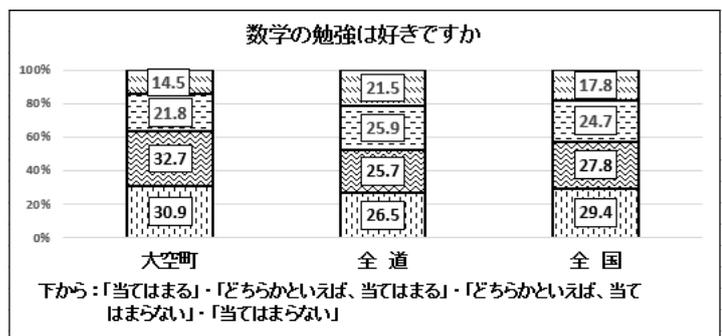
●学習に対する関心・意欲・態度



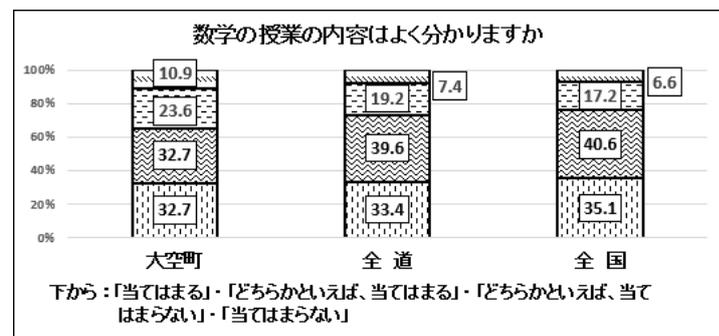
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が74.6%で、国語の勉強が好きな生徒の割合は、全道平均より7.1%高い結果となりました。



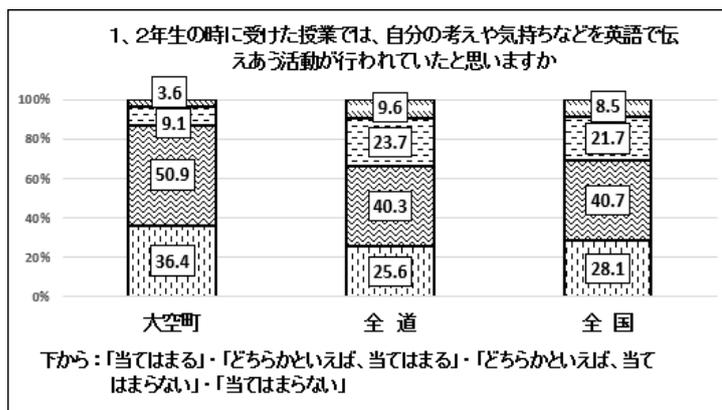
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が83.6%で、国語の授業の内容はよく分かると考えている生徒の割合は、全道平均より1.4%低い結果となりました。



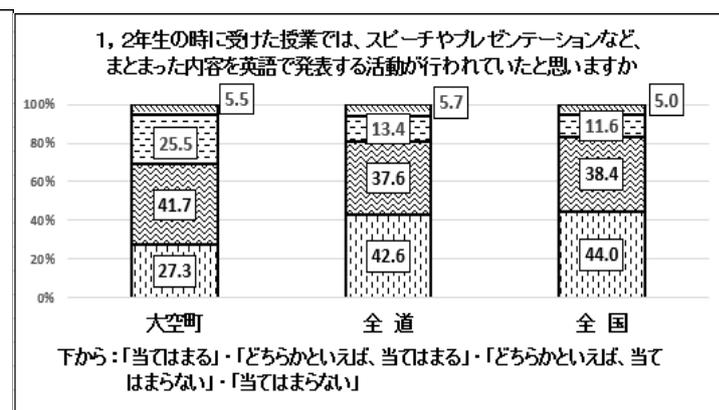
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が63.6%で、数学の勉強が好きな生徒の割合は全道平均より11.4%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が65.4%で、数学の授業内容はよく分かると考えている生徒の割合は全道平均より7.6%低い結果となりました。

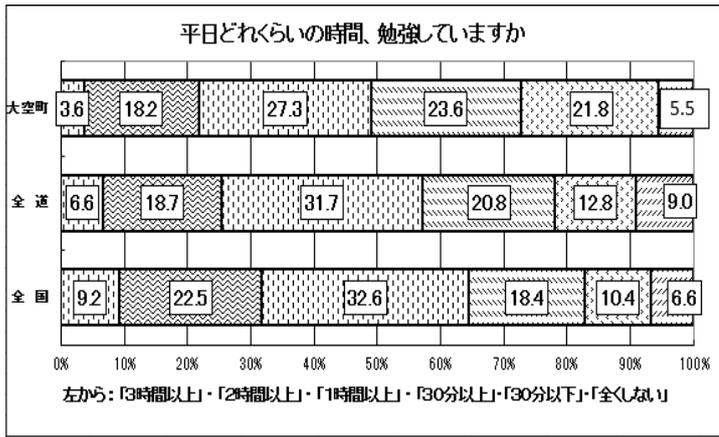


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が87.3%で、自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう活動が行われていたと思う生徒の割合は21.4%高い結果となりました。

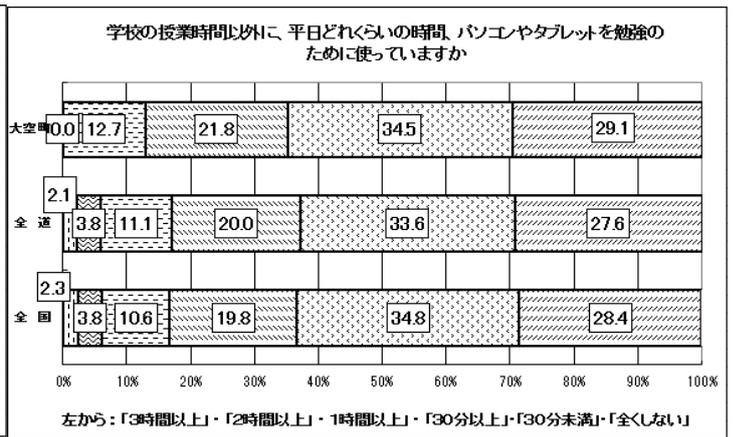


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が69.0%で、スピーチやプレゼンテーションなどまとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う生徒の割合は全道平均より11.2%低い結果となりました。

●家庭での学習習慣

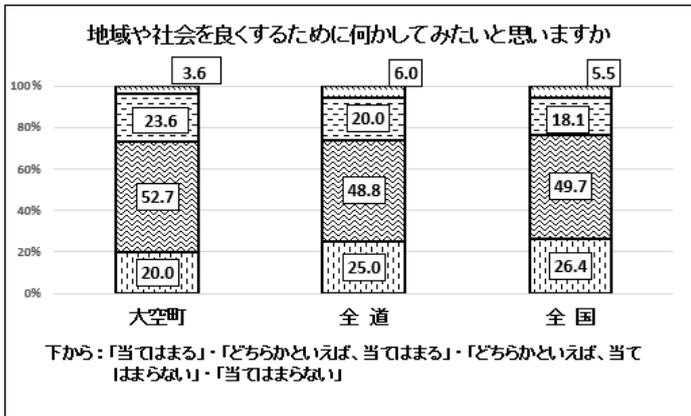


「3時間以上」「2時間以上」「1時間以上」との回答が49.1%で1時間以上勉強している生徒の割合は全道平均より7.9%低い結果となりました。

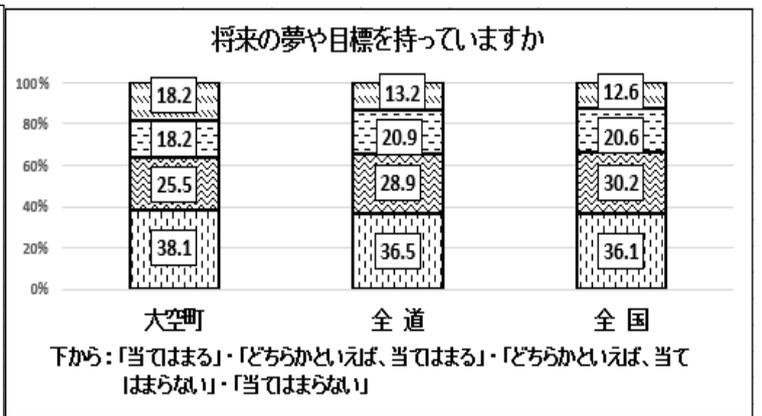


「3時間以上」「2時間以上」「1時間以上」との回答が12.7%で、平日1時間以上パソコンやタブレットを勉強のために使っている生徒の割合は全道平均より4.3%低い結果となりました。

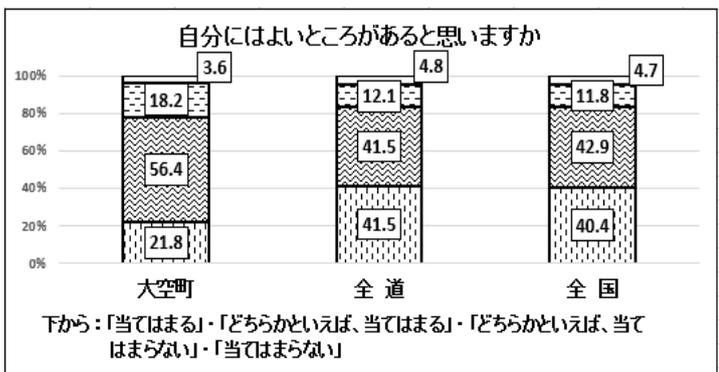
●自尊感情、規範意識



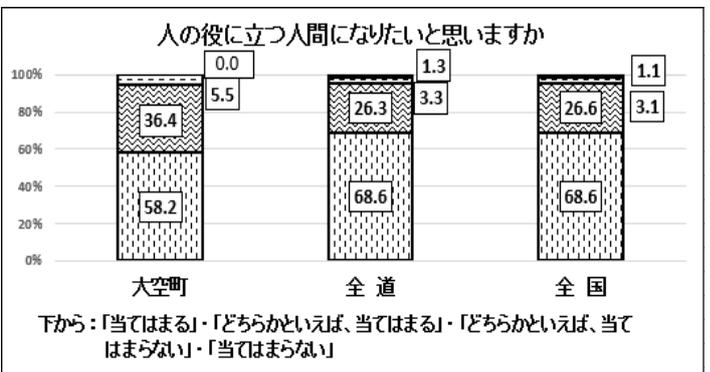
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が72.7%で、地域や社会を良くするために何かしてみたいと思う生徒の割合は、全道平均より1.1%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が63.6%で、将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、全道平均より1.8%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が78.2%で、自分には、よいところがあると思う生徒の割合は、全道平均より4.8%低い結果となりました。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が94.6%で、人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合は、全道平均とほぼ同じくらいの結果となりました。

【大空の学力向上策】

- 1 一人一人に対応したきめ細やかな指導の充実
- 2 学校改善プランによる共通・一貫・徹底した学習指導の工夫・改善
- 3 ICT機器を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進
- 4 ユニバーサルデザインの視点によるスモールステップでのわかりやすい授業づくり
- 5 家庭学習など小中一貫した系統的な取組による学習習慣の定着

本調査により測定できるのは、学力の一部であり、学校における教育活動の一側面でしかありませんが、調査結果をきちんと分析し、児童生徒の学力向上に向けて各学校と連携し、取組を進めていきます。

地域や保護者の方々に、学校の実態を踏まえた上でのご協力をよろしくお願いいたします。